

患者氏名	O		様	病名	症状	主治医	O	印	受け持ち看護師	
月日	1月0日		1月1日		1月3日～	1月4日～		1月8日～	1月19日	
項目	手術前日		手術前（当日）		手術後（当日）	手術後1日目～		手術後4日目～	手術後7日目～	
達成目標	手術の準備ができる		手術後の安静が守れる		ベッドから起き上がることができる リハビリが開始できる	痛みが軽減する 松葉杖での歩行のリハビリが開始できる		安定した松葉歩行ができる	退院後の注意点が理解できる	
治療・薬剤（内服）	中止された以外のお薬は夜まで飲んでください 薬物治療について文書を用いて担当薬剤師が説明します		朝のお薬は、 （ ） を飲んでください 経口補水液が飲めなかった場合は点滴をします		手術後心電図を装着します 呼吸の状態を測定する器械をつけます 酸素のマスクをつけます 点滴を翌日まで継続的にいきます 背中に痛み止め麻酔の管が留置されることがあります	抗血栓薬 （ ） 以外の普段の飲んでいるお薬を再開します 鎮痛剤の処方が出ます		必要に応じて医師が診察します 入院前抗血栓薬を飲んでいての方は 背中への痛み止め麻酔の管が抜けた翌日から再開となります	必要に応じて医師が診察します	
									日常生活の注意事項について ・枕などで足を高くし浮腫を予防してください ・手術した足に体重をかけることは主治医の指示に応じて行うようにしてください ・転倒に注意してください ・患部の洗浄方法について説明します ・湯船につかるのは控えてください ・洗えない部分は清拭し清潔を保つようにしてください ・38.5度以上の発熱の持続や、傷口の腫れ、しびれや疼痛の悪化がありましたら外来へご連絡ください	
活動・安静度	制限はありません		制限はありません		ベッド上安静です 横向きではできません 横向きしたい場合は看護師に相談してください	朝まではベッド上安静です 身体を拭き、着替えを行います 車いす乗車を開始します 理学療法士によるリハビリテーションを行います		リハビリテーションの状況に応じて松葉杖での歩行の許可が出ます、病棟でも松葉歩行の練習をお手伝いします 背中への痛み止め麻酔の管が抜けた翌日から患部をビニールで覆ってシャワーができます	お渡ししているパンフレットの「術後4日目から2週」のページにそってリハビリを行います	
	松葉杖を貸し出しします （保証金7000円が必要になります） 理学療法士による リハビリテーションがはじまります		ベット上では足を枕で高くあげてください 膝とつま先が天井を向くように心掛けてください		お渡ししているパンフレットの「術後1から4日」のページにそってリハビリを行います		お渡ししているパンフレットの「術後4日目から2週」のページにそってリハビリを行います 松葉杖歩行の注意点も説明します		松葉杖が不要となった場合	
食事	21時以降は食べられません。 お水・お茶は飲めます 特別な栄養管理の必要性 有・無 栄養管理が必要な場合は、文書を用いて管理栄養士が説明します		食事はできません お水は（ ）時まで飲めます		食事はできません	朝食から手術前と同じ食事が出ます		制限はありません	松葉杖保証金預り書と松葉杖を外来に持参し返却印を押してもらった後、会計窓口で保証金を返却してもらってください	
	制限はありません		制限はありません		尿の管が入ってきます	回復に合わせて尿の管を抜きます		制限はありません	制限はありません	
患者様およびご家族への説明	入院・手術について説明します 手術について医師の説明があります 経口補水液について説明します シャワー浴をして身体を清潔にしてください 爪の長い方は切り、マニキュア・ジェルネイル・スカルプネイルも落としてください 術後に使用する寝巻着（浴衣タイプ）を用意してください 病院でレンタル寝衣の説明をします 患者様確認のためにIDバンドを装着します		洗面・歯磨きはできません 指輪・時計・めがね・義歯など外せるものは外してください 弾性ストッキングは手術しない側にのみ着用してください 貴重品の管理はご家族でお願いします		足に血栓予防の器械をつけます	足に血栓予防の器械をつけています ベットから起き上がって車いすに乗れたら器械ははずします				
	手術後心電図を装着します 呼吸の状態を測定する器械をつけます 酸素のマスクをつけます 点滴を翌日まで継続的にいきます 背中に痛み止め麻酔の管が留置されることがあります		手術後は看護師が適宜伺います うがいができます 尿の管が入らなかった場合はトイレのみ車いすで移動可能です		弾性ストッキングは松葉杖で歩行ができれば、はずしていただいてもかまいません 転倒に注意してください				次回外来について看護師が説明を行います 退院は、午前10時頃です IDバンドは退院時に看護師がはずします ICカードは病棟で返却してください	

注1 場合によっては内容を変更することがあります。
リハビリテーション・退院支援が必要な場合は、文書を用いて説明します